



# 消防団

瑞穂町消防団だより

平成30年10月  
第 8 号

発行:消防団広報誌編集委員

## 体力増強訓練

平成30年4月1日(日)瑞穂町中央体育館にて、消防団の体力増強訓練が行われました。体力維持と各分団のコミュニケーションを高める目的で消防本部、各分団を合わせた6つのチームがビーチバレーとドッジボールに分かれ、総当たりによる訓練を行いました。ビーチバレーは、体育館の半面にバドミンントンのネットを3つ用意し、6人が1チームとなり試合を行いました。やってみると普通のボールと違い、柔らかいビーチバレーボールの扱いに手間取っていた団員達も次第に慣れ、3つのコートでそれぞれ白熱した試合が展開されました。各分団勝つために、大汗をかき、大きな声で指示や応援をしていました。これも火事場での連携や意思の疎通に繋がります。

もう一つの半面コートはドッジボールを行いました。内野、外野に分かれ一生懸命に避けたり、投げたり、子供の頃を思い出しました。こんな時は性格や行動がはっきり分かれます。誰よりも前でボールを受ける者、しっかり周りを見て味方や自分を活かす者、各分団の長はこういう行動をしっかりと見据え、実際の災害時には団員を適材適所に配置し住民の安心安全を守る為、そして自分達も守る為にこのような訓練も重要だと感じます。  
(担当 4分団)

11月9日～15日は  
秋の火災予防運動 期間です！！



## 消防団活動写真



台風24号による暴風対応



ビーチバレー



ドッジボール



訓練講評

## みずほ園災害想定訓練

6月21日(木)特別養護老人ホームみずほ園にて、地震の発生を想定した救助、消火訓練が行われました。

訓練は、福生消防署・みずほ園自衛消防隊・栗原町内会・瑞学園・瑞穂町消防団第3分団・第5分団による合同訓練となりました。

午後6時、震度6弱の地震発生。建物の一部倒壊による負傷者の救助、搬送が栗原町内会・みずほ園職員により速やかに行われた後、火災発生の通報により到着した、福生消防署・瑞穂町消防団第3・第5分団が担架による要救助者の搬送・避難誘導、はしご車による救助活動、又みずほ園自衛消防隊とともに一斉放水を行いました。

この訓練では消防署・消防団の到着前にみずほ園従業員・地域住民の方々による初期消火(自助)、連携しての救助活動(共助)があり、消防到着後も出火場所及び要救助者の情報提供を行うなど実際の災害を想定した実践的な訓練となりました。

(担当 5分団)



要救助者のもとへ!



はしご車による救出



一斉放水

## 消防団幹部研修

7月26日(木)瑞穂町郷土資料館けやき館にて、消防団幹部研修が開催されました。研修には瑞穂町消防団の本部・各分団幹部が参加しました。

今回の研修には講師に元自衛隊副連隊長・司令部幕僚で、現在瑞穂町住民部危機管理官の亀山参事を招き、「自衛隊での体験談」と題して、亀山参事が自衛隊員として経験した伊豆大島土砂災害を一例に講演が行われました。

はじめに、伊豆大島土砂災害の概要を写真を使って説明していただきました。次に、亀山参事の体験談の話を織り交ぜながら、災害発生前後の大島町や消防団・自衛隊の対応を時系列に沿って説明していただき、当時の様子を詳細に知ることができました。最後に、過去の災害から学んだ教訓や今後の備え、地域に密着した消防団に期待することなど、瑞穂町を守るための重要な話を聞かせていただきました。

今回の研修で過去の災害を知り、今後起こり得る災害に備えることの重要さを再認識することが出来ました。この幹部研修を、町民の生命・安全・財産を守るため、今後の消防団活動に活かしていきます。

(担当 3分団)



研修の様子



講師  
亀山参事

## 結索訓練・無線通信訓練

8月20日(月)元狭山コミュニティセンターと第5分団詰所にて、結索訓練と無線通信訓練をそれぞれ行いました。

結索訓練は、福生消防署員の方々が講師となり、ロープの結び方を習いました。若手団員が主な対象者で、2年に1回、この講習を受けていますが、普段使用していないと、結び方を忘れてしまい、再確認するような形で講習を受けていました。本結び・8の字結び・フューラー結び・もやい結び等、色々な結び方を実演交えて行いますが、少し見ただけでは、なかなかうまくいかないことが多く、頭を使う作業です。3番員を経験していれば、もやい結びを、操法で嫌と言うほど練習をしています。結ぶ対象物の方向が異なると結び辛くなり、あえて同じような方向で練習をしたりする人もいました。

講師の方々に指導していただけるので、その場では出来た気になります。講師の方々に指導していただけるので、その場では出来た気になります。講師の方々に指導していただけるので、その場では出来た気になります。

別の会場では、無線通信訓練を行っており、火事現場での実践を想定しての無線での報告といったやり取りを行いました。分団の行動状況を報告し、皆に情報共有を行うのが目的で、実際にホースを延ばしたり、走ったりします。夜ではありましたが、蒸し暑いこともあり、滝のように汗を流しながらの訓練となりました。(担当 1分団)



講師からの指導



人で試してみると...



夜間ホース延長

## 西多摩地区消防団連絡協議会幹部研修会

9月9日(日)青梅市役所にて、西多摩地区消防団連絡協議会幹部研修会が開催されました。

この研修会には、西多摩各市町村消防団の役員の方々が参加しました。

講師に吉池貴美氏(危険予知訓練指導員)をお招きし、消防団活動における安全管理について、講演していただきました。

消防団は、災害対応の他、演習訓練等の様々な活動を行っています。しかし、活動中に事故が起きてしまうこともあり、安全確保対策はとても重要な課題です。

今回の研修会で、事故発生メカニズム、事故の予防策、事故発生後の対応策について基本から学ぶことができました。

安全管理に配慮して、事故が発生しないよう、努めていきたいと思えます。(担当 2分団)



総勢約300名が集めた研修会の様子

# 女性消防団員を募集しています！

瑞穂町消防団では平成31年4月の改選期に向けて、女性団員を募集します。女性消防団員は原則として消火活動に従事せず、従来の消防団活動において、必ずしも対応が十分でなかった広報活動や火災予防活動、応急救助指導などの活動を行います。災害時の活動としては、消防団本部における情報収集活動や後方支援活動を主とした活動を行い、消防団活動の充実を図ります。

【募集期限】 12月28日（金）まで

【任期】 2年間とする。ただし、再任できません。

【入団資格】 ・町内在住または在勤の18歳以上の方（学生可）

・健康な方

【募集人員】 10人

【処遇】 ・消防団員に任命されると、その職責（階級）に応じた報酬が支給されるほか、各種活動に対し出動手当が支給されます。

・活動中の負傷などに対する公務災害補償制度があります。

・団員に対しては、その活動に必要な被服が貸与されます。

わたしたちの町は  
わたしたちで守ろう！



※詳しくは下記消防団事務局まで

## 消 防 団 員 募 集 ！

自分の町、大切な人を  
守りたい。  
地域の防災の為にあな  
たの「チカラ」を發揮  
してみませんか！

条 件

- ・在住または在勤者
- ・18歳以上
- ・健康な方

連 絡 先

瑞穂町消防団事務局  
(瑞穂町住民部地域課内)  
☎ 042(557)7610



災害情報メール配信  
町では町民へ災害や火災  
が発生した時にメールの  
配信を行っています。左の  
QRコードを読み取るか  
メールアドレスをご登録を  
して下さい。

QRコード



メールアドレス  
mizuho.saigai  
@mpme.jp

広報誌編集委員

本 部 高橋一幸副団長・川口勉 副団長  
1分団 竜田昌哉 部長・丹生範仁 部長  
2分団 山内稔啓 部長・高橋洋一 部長  
3分団 浦野 純 部長・村上竜一 部長  
4分団 鳥海利規 部長・高橋直樹 部長  
5分団 森田嘉文 部長・岩永泰樹 部長

連絡先 瑞穂町消防団事務局  
☎ 042(557)7610